

PCGSの手変り(Variety) グレーディング申請にトライしました!

(1870) M3

PCGS AU50

Japan

JINDA 01-13 粗葉脈 短陽光
Thick veins, Short Rays



Japan
JINDA 01-13 粗葉脈 短陽光
Thick veins, Short Rays

Aurized Coins 須崎 武

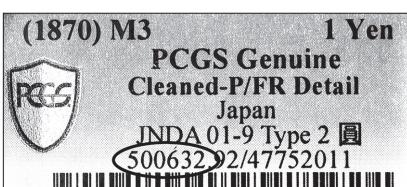
色々なテーマでのコレクション
がある中、手変りを収集され
る方もおられると思います。日本
の大桐／長支脈／短支脈／対称脈、
旧円銀の普通円／正貝円／欠貝円
など様々あります。

私も手変り好きのひとりです。
そんな中、グレーディングで手変
り申請もやつてみたいなと思うよ
うになつたんですね。ならやつ
てみるか! ということでお今はそ
のトライした顛末です。

一般的に鑑定会社ではPCGSと
NGCが市場の大半を占めていると
思われます。最近では国内のCAG
も頑張っていますよね。PCGS
やNGCは鑑定枚数をWeb上で
公表しており、日本のコインを見
てみると特にPCGSは主な手変り
(Variety) も分類されています。

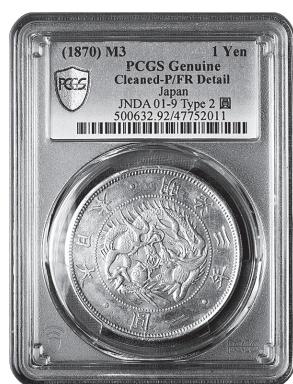
例えばPCGSでは、
旧円銀の普通円有輪は
「Type1 圓 w/Border」
普通円無輪は
「Type1 圓 NoBorder」
といった感じです。

すでに分類されている手変りがあ
れば、申請時には該当するPCGS
分類番号(写真1)と一緒に伝えれ
ばスムーズに進むかと思います。こ
ちらが見落としていても彼らが気付
いて適切に分類する場合もあると思
います。



丸で囲った部分がPCGSでの分類番号です。Webではこの番号を基準にして鑑定枚数を見ることができます。

(写真1)



一般的に知られていない手変りが
様々あると思いますが、アメリカの
コインがPCGSで手変り分類さ
れる条件はサイト(<https://www.PCGS.com/Varietyfaq>)上で発表さ
れています。

いのページを読んでいると、日本
等その他の国のコインを申請するに
は、コレクター間ではよく知られて
おり、かつ書籍等にも載っているモ
ノが良いのかなと想像しました。
例えばアメリカコインのカタロ
グには、『A Guide Book of United
States Coins (The Red Book)』と
いうのがありますが、これに載って
いるバラエティはPCGSでも認定さ
れているようです。日本の『日本
貨幣カタログ』の分類も認定されて
いますね。

手変りコレクターの中にはこれら
のカタログに載っていないモノでも
申請したい方がおられるかもしれません。
私はそんなひとりです。また
手変り好きとしては、そういう事例
を通して手変りに興味をもつてもら
ります。

※本稿内のスラブの画像は原寸ではありません

PCGSで分類され ていない手変りの申請